



May

4月頑張った疲れが出て来る頃です。  
親子でゆったり過ごす5月にしましょう。

# ほけんだよ!



## 4月の保健室

- びょうき 27人
  - け が 33人
- ※溶連菌感染症の報告が数名ありました。



## 学校医の先生を紹介します!

内科

池田 暁彦 先生  
●いけだクリニック

歯科

水戸部 功 先生  
●みとべ歯科医院

眼科

石丸 裕晃 先生  
●石丸眼科医院

耳鼻科

林 和広 先生  
●道庁前はやし  
耳鼻咽喉科医院

薬剤師

岩尾 祐子 先生  
●百合の会病院

## 連休は親子でリフレッシュしましょう!

今年の長期予報では、蒸し暑い夏が早くやってくるとか。熱中症対策として外遊びに少しずつ体を慣らすのが効果的です。今から汗をかく習慣をつけることが大切です。連休は親子で是非体を動かして、熱中症対策を始めましょう!



## 定期健康診断

二計測・視力(全学年)、聴力(1. 2. 3. 5年)、歯科検診が終了しました。聴力検査は対象学年ではなくても、聞こえに心配があるお子さんは検査をしました。テレビのボリュームを上げたり、聞き返すことが多くなったりしたときには、検査は簡単にできますのでお知らせください。また、視力検査の結果座席の配慮をしていますが、視力低下の原因は「近視」だけではありませんので眼鏡屋さんに行く前に眼科で詳しく調べてもらうようにしてください。

色覚検査は定期健康診断の項目にありませんが、毎年2年生の希望者に休み時間を利用して検査しています。お子さんの見え方の特性を知るためには有効な検査です。他の学年でもご希望があればお知らせください。

### 内科検診

13:10~

6/3(水)2. 4. 6年  
6/4(木)1. 3. 5年  
&3組

- 他児童から見えないコーナーで検診します。
- 「運動器検診」にチェックが付いているお子さんは、上半身裸になる場合があります。
- 脱ぎ着しやすい服装で、つなぎやワンピースは避けてください。

### 尿検査

9:00まで持参

1回目5/1(金)  
. 全学年  
2回目5/22(金)  
. 欠席者・再検査

- 前日、お知らせのプリントと、紙コップ、スピッツ、ラベルを持ち帰ります。



### 耳鼻科検診

9:00~

5/14(木)1.4年

- 耳掃除をお願いします。
- ※入口のとれる部分だけでかまいません。「耳垢栓塞」で鼓膜が確認できない場合は、病院で除去して診ていただくこととなります。奥の方を無理して取ると傷を付けてしまうことがあります。

### 眼科検診

9:00~

5/19(火)1.4年

- 前日は十分な睡眠をとり、目を休めるようにお願いします。
- 朝は顔を洗い、目にかかる前髪はとめてきてください。



## DATA

### 令和7年度 本校の学校感染症報告

- インフルエンザ……………36人
  - 新型コロナ……………35人
  - 溶連菌感染症……………28人
  - 水痘……………6人
  - その他……………11人
- (咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、手足口病、百日咳)



### 学校感染症について - 出席停止です -

感染症予防法で指定されている感染症や、学校生活を通して流行しやすい感染症にかかった場合は、流行が広がるのを防ぐために、「出席停止」の措置をとることになっています。

インフルエンザ、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎  
新型コロナウイルス感染症

- ◆医師の診断を受けたときは、必ず学校にご連絡ください。
- ◆出席停止期間は病気毎に定められていて、欠席にはなりません。
- ◆『出席停止の通知書』をお渡ししますので、医師の許可が出て登校してから「報告書」を学校にご提出ください。

## DATA

### 令和7年度 学校管理下のけが

昨年度は、「スポーツ振興センター」の適用になったけがは6件でした。

- 休み時間……………1人
- 体育の授業中……………4人
- 下校中……………1人



### スポーツ振興センターについて

- 登下校を含めた学校生活でのけがについて -

先日は「加入同意書」のご提出ありがとうございました。今年度から自動更新となるため毎年提出の必要はなくなります。

学校管理下のけが(登下校・学校生活)で、帰宅後受診した場合は、担任までお知らせください。適用になる場合はお子様を通じて書類をお渡します。医療費は、書類提出後、2~3か月でご指定の口座に振り込まれます。

帰宅後や休日のけがの場合は、「PTA共済」があります。

## 学びの支援コーディネーターをご存知ですか？ - 子ども支援委員会 -

学校には、「子どもの困っている状況」(サイン)をキャッチし、教育的支援を行うための委員会があります。子ども支援委員会です。委員会では、子どものつまづいている背景を複数の教員で把握し、スクールカウンセラーや関係機関と連携しながら具体的に子どもの支援計画を立てていきます。

その際相談窓口となるのがコーディネーターで、高田、岸本、東田が担当しています。子ども支援委員会は、学習、発達、いじめ等、毎月開いて全職員で共有しています。何かお子さんのことで相談したいことがありましたら、どうぞお気軽に声を掛けてください。



### 子育ての つぶやき



このコーナーでは、自分の4人の子育てを振り返りながら、ちょっと参考になるかもしれないことを時々書かせていただいております。子育てで大切にしてきたことは、わが子と向き合う時間は長さではなく「質」。短い時間であっても、わが子が必要としているときには《一緒に考え、一緒にいてあげる》という安心感の積み重ねを大事にしました。とはいえ、失敗もたくさんしてきました。子どもたちが大きくなってから「あの頃言われた言葉に傷ついた」と聞き、深く反省したことも多いのです。そのたびに謝ってばかりです。

あるお母さんから、「息子が何度言っても時間を守らずゲームをやめないの、コードをはさみで切ってしまった。感情にまかせて本当に馬鹿なことをしてしまった。」と相談を受けたことがあります。新しいものを買うのは簡単ですが、その前にお子さんとの関係をどう修復していくかが親子の今後に大事なわけです。やっぱり素直に謝ろう、自分の感情を包み隠さず話してみようということになりました。素敵なお母さんです。壊れたゲーム機の出費は大きかったけれど、仲良し親子になって思春期もいい距離感を保っていました。わが子の成長を願っての「叱る」行為であっても、自分がしてほしいことをやっけてはいけません。時代が変わっても、年齢が違っててもです。でも、やっけてしまいますよね・・・その時は、子どもと同じ目線で素直に謝ることです。好きなものを作ってあげて一緒に食べることです。両者間違いなく幸せになります！